

TAC活動の記録をより便利に 来年4月から本格稼働 担い手営農サポートシステム（Nサポシステム）操作研修会

農産総合課は9月14日、県内JAの営農・TAC管理者および担当者を対象に「担い手営農サポートシステム（Nサポシステム）操作研修会」を開催した。

営農指導員・TACの訪問活動を記録する現行のTACシステムは導入より14年が経過。度重なる改修によってシステムが複雑化し、機能改善が難しくなっている。加えて近年のICT活用の普及に合わせて操作性・利便性の向上を図るため、システムを一新した。

新TACシステム「担い手営農サポートシステム（Nサポシステム）」はダッシュボード機能を搭載し、各農家の状況把握に必要なデータを一つの画面で確認できる仕様となっている。入力にあたっては、スマートフォン・タブレット連携、音声入力が可能となり、操作性が格段に向上。JA経済システムからデータをインポートすることで、経済規模・利用率等の数値に基づく訪

問先リストを自動作成。規模が大きく、利用率が低いなどの経営体を重点訪問先として抽出することが可能となる。

また、従来通りのシステム入力を可能とした「標準モード」、新機能を用いた高度な分析が可能な「Proモード」の2つから選択可能である。

同システムは令和6年4月から本格稼働を予定している。



【担当職員よりひとこと】



担い手営農サポートシステム（Nサポシステム）」は従来のシステムに比べ、担い手の情報の蓄積やそれらの見える化に特化し、操作性・利便性も向上しています。新システムの活用を通し、定量・定性データに基づく戦略的な提案を訪問活動の中で実現していただきたいと思います。

（農産部 農産総合課 葉山末華さん）

農機の使い方を見直し、日頃の作業に役立てる 東部農機センター 農作業安全講習会

東部農機センターはJA横浜と連携し、9月13日・14日の2日間、それぞれ横浜市都筑区のきた総合センターと泉区のみなみ総合センターにて農作業安全講習会を開催した。同JAの組合員とその家族を対象とし、合わせて32人が参加した。

同講習会は農作業事故の未然防止を目的に開催。やまびこジャパン株式会社と本会職員を講師役に、受講者は刈払機、チェーンソー、ハンマーナイフモアの操作や点検・整備に関する内容を学んだ。また、研修会受講の証として修了証を交付し、作業安全への意識を高めた。

研修は座学と実技の二部構成で行われた。座学では農作業事故防止のポイントが、重大な事故の事例を交えつつ紹介された。実技では日頃の作業を振り返りつ

つ農業機械を扱う受講者の様子が見られた。実技にあたり用意したさまざまなタイプの農業機械も関心を集めた。

研修会の事務局を担当した同センター佐久間勝徳所長は「管内では先日、トラクターの横転事故が発生した。農作業事故はふとした瞬間に起きてしまう。1秒の作業、1秒の行動に注意して農作業を進めてほしい」と受講者に呼びかけた。



直売所コンサルティング 県内3店舗目に JAさがみ わいわい市藤沢店

9月7日、JAさがみ直売所「わいわい市藤沢店」が加工品コーナーを一部リニューアルし、102点の新商品が導入された。これは生活課が手がける直売所コンサルティングの取り組みの一環で、県内3店舗目の事例となった。

既にコンサルティングを行った2店舗と異なり、同店では商品カテゴリごとにABC分析を実施した。その結果、求められている機能は残しつつも、新しい商品も手に取ってもらえるような売り場に生まれ変わった。

また、今まで取り扱いが薄かったご当地飲料コー

ナーを新設。9月は残暑が厳しく、売り上げも好調だったようだ。

今年度は少なくともものこり2店舗のコンサルティングを予定している。直売所の売り上げの安定化、より青果物が売れる売り場作りに向けて、生活課は今後も取り組みを深化していく考えである。



次世代対策 一丸となって葬祭事業PR JA葬祭神奈川 新チラシが完成

JA葬祭神奈川（神奈川県JA葬祭事業運営協議会）は、10月、JA葬祭事業のプロモーションを目的とした新デザインのチラシを制作した。

同協議会は県内11JAの葬祭部署・子会社が加盟しており、発足以来、各JAはそれぞれの形で葬祭事業の宣伝を行ってきた。近年では競合他社がシェアを拡大しており、同協議会では対抗策としてグループ力の発揮を課題に挙げてきた。今回のチラシは、各JAが県下全てのJAを宣伝するといった、これまで一度も実現したことのない取り組みとなった。

チラシ制作にあたっては、県内で利用可能な式場の

調査や、「海洋散骨」「家財整理」「国内外の搬送業務」などJAによって対応の可否が分かれていた業務の統一も図られた。

組合員の子世代が農業を継いでいない、JAと関わりを持ちづらといった情勢を踏まえ、同協議会では今後も事業のプロモーションに力を入れていく。



11月は畜産イベント目白押し！

11月は11月5日「いいたまごの日」11月29日「いい肉の日」といった畜産物の記念日が複数あります。神奈川県でもこのたび、11月の第一日曜日が「かながわ畜産の日」に制定されました。県内の畜産業が県民の理解のもと発展してきたことに感謝し、これからも消費者の期待に応える気持ちが込められています。

今年の11月第一日曜日、11/5には下記の通り県産畜産物を食べて・知って・楽しめるイベントが開催されます。ぜひお越しください。

【日時】 令和5年11月5日（日）10時～15時
【場所】 湘南台公園（藤沢市湘南台7丁目16番）
【内容】

（1）かながわ畜産の日フードフェス2023 in湘南台
主催：かながわ畜産ブランド推進協議会
「かながわ畜産の日」記念日登録証授与式、県産牛乳や乳製品・牛焼肉・鶏卵加工品・はちみつ等の販売、模擬搾乳体験などの生産者との交流、家畜の展示、かながわの畜産を紹介するパネル展示

（2）第32回かながわトントンまつり
主催：一般社団法人神奈川県養豚協会、一般社団法人神奈川県畜産振興会、一般社団法人神奈川県畜産会
ポークチョップ・銘柄豚肉・加工品販売、豚のハガキ絵コンクール（湘南台公民館で実施）、地場産野菜販売 等

